



# 5月の園だより

令和5年5月1日  
目黒区立田道保育園園長

園庭に5歳児クラスの子どもたちが作ったこいのぼりが風に揺られて、気持ち良さそうに泳いでいます。新年度がスタートして一ヶ月が経ちました。入園、進級した子どもたちも新しい部屋や生活にも慣れ、幼児クラスの子どもたちは友達と遊ぶことが楽しく元気いっぱいに登園する姿が見られるようになりました。小さなクラスの子どもたちも安心できる保育士と好きな遊びをじっくり取り組むことで安定し、自分から遊びを見つけ楽しむ姿が見られるようになりました。

先月、事務所のカウンターに置いてある飼育箱の中にいるカマキリの卵の中から、カマキリの赤ちゃんが生まれました。「ねえ、みて、みて、卵からカマキリの赤ちゃんがたくさんでてきたよ」とお母さんに声をかけている姿が見られました。続々と卵の中からでてくる赤ちゃんを見てお母さんも「すごい、次々と出てくるね」と親子で目を丸くして見ていました。子どもたちは毎朝、玄関に入ると「ぼぼちゃん、おはよう。今日も元気だね」と事務所前にいるカメに声をかけ笑顔で元気いっぱいに登園してきます。4月当初は新入児のお子さんも緊張しているようでしたが、まわりの友達の元気な声や生き物に触れ合うことで少しずつ緊張もほぐれ、笑顔で登園してくる姿が見られるようになりました。親子の楽しそうな会話がたくさん聞かれ、生き物を通して、親子が共感し安心できる場になっていることを嬉しく感じます。

## 今月の予定



子どもの日集会  
(3・4・5歳児クラス)

中旬 避難訓練 身体計測

## 懇談会について

3歳児クラス  
4歳児クラス  
2歳児クラス  
1歳児クラス  
0歳児クラス

16:30~18:00 ホールにて

## 各クラスの子どもたちの様子をご紹介します



### 「くじら食堂」

### 5歳児クラス

昨年のかじら組から譲り受けたアサガオの種を撒くため雑草取りをしました。細長く伸びる葉っぱを「なんかネギみたい」という子に、ドクダミの臭いをかいで「わあ臭い、こっちがネギみたいだよ」と会話が弾み「これでお味噌汁作ろう」と言う事になり、バケツいっぱい野菜(雑草)で、ままごと遊びが始まりました。鍋に土や水を入れてダイナミックに作ると思いきや、「肉も入れないとね」と小石を集めて丁寧に混ぜ込んだ豚汁、シャベルを包丁に見立て葉っぱを小さく切り分けたシチューなど、思い思いに草を選び調理しています。テーブルにたくさんのスープが並ぶと鬼ごっこをしていたメンバーも寄り道してしまうので、何度も鬼ごっこが中断してしまうほど、くじら大衆食堂は大盛況の毎日です。園庭に出ると声を掛け合わなくても開店準備が始まります。さて“本日のスープ”は、なんでしょうか。きっとアサガオが咲いたら、きれいなピンク色のスープが発売されると思います。



### 「先生と一緒に」 0歳児クラス

保育士や部屋の環境にも慣れ、気になる玩具に手を伸ばして遊ぶ姿が見られています。「上から下からおおかせ来い」と歌いながら布を揺らして顔にかぶせるとにっこり笑顔を見せてくれ、布を引っ張りながら「ばぁ」と顔を出して楽しんでいます。保育士と1対1で園庭にも出るようになりました。マットの上を下りてみると手が砂に触れ“これなぁに”というようにじっと見つめています。「お砂あったね」「じゃりじゃりするね」と声をかけながら一緒に触れると保育士と同じように手を動かして大胆に触っていました。保育士が安心できる存在になり、信頼関係築き興味関心を広げ好きな遊びを一緒に楽しんでいます。



### 「なかなか ほしい！」 1歳児クラス

4月当初は新しい部屋や新しい担任の保育士に緊張した表情を見せていた子もいましたが、一緒に遊んでいると笑顔を見せて遊んでくれることも多くなりました。“なかなかほしい”の歌に合わせてリングで床を叩いたり、リングとリングを叩き合わせ最後に頭に寄せたり落としたりする遊びをすると子どもたちもリングを持って楽しそうに床を叩いています。次の日、リングを持ってきて渡してくれる子がいました。“なかなかほしいがやりたい”と気づき、歌ってみるとにっこり嬉しそうにして歌に合わせて叩き始めます。保育士と信頼関係も少しずつできてきて言葉や仕草で自分の“やってみたい”を伝えてくれ楽しく遊んでいます。



### 「見つけたよ、ダンゴ虫」

### 2歳児クラス

園庭に出ると「ダンゴムシが見たい」と声をかけてきた子どもたちと一緒に虫探しが始まります。「ここはいないねえ」「こっちは」と石や葉を自分たちでどこかして探しています。保育士が手に乗せてみると他の子ども興味深々に集まってきました。丸まっているダンゴムシに「起きて起きて。朝だよ」と声をかけたり「あ、起きた」や「大きいダンゴ虫は寝てるね」「まだ眠いんじゃないの」など、自分の思いを伝えながら見えています。園庭や散歩先で花や虫、石、葉っぱなど子どもたちの興味が広がっていきます。子どもたちと発見する楽しさに共感し、自然の中での楽しさをたくさん味わっていきます。



### 「ご飯作ってるの」 3歳児クラス

ままごと遊びが大好きで部屋や園庭で料理を作るのを楽しんでいます。子どもたちが数人集まって園庭で砂、土をボウルに入れて水を入れ、両手で混ぜてチョコレートを作り始めています。トトロにできると製氷皿に移し「できたー」と嬉しそうに声をかけてきます。友達や保育士を呼びかけ友達が寄ってくると「一緒に食べよう」と声をかけています。そしてお互いに目を合わせながら「おいしいね」と食べ始めていました。その隣では「いいにおいでしょ」と葉っぱをちぎり麺に見立てラーメンを作り、いくつも並べています。保育士に箸を手渡し「これも食べて、先生大きくなるよ」と声をかけてくれます。友達とのやり取りが楽しくなっているようです。保育士も一緒にやり取りしてイメージを共有しながら楽しんでいきたいと思えます。



### 「いるかになったよ」 4歳児クラス

3月の最後の1週間は新しい部屋で過ごしました。慣れない環境で緊張していましたが、いるか組に進級すると“今日は何をして遊ぼう”“昨日遊んだ続きをしよう”と期待に満ちたような元気な声で挨拶をし入室する姿が多く見られるようになりました。園庭では、鬼ごっこや砂場での泥遊びお家ごっこなど友達と一緒にそれぞれ好きな遊びを楽しんでいます。ある日マットをたくさん広げ大きなお家を作っているとペンギん組やらっこ組のお客さんがやってきました。「ここからどうぞ」と優しく招き一緒にくつろいだり、お客さんが困っていると「どうしたの」「シャベル使いたかったの」と優しく声をかけてくれます。いるか組になって小さい友達にも優しくしてあげたりと張り切っている様子が伝わります。クラスの友達とのやりとりだけでなく異年齢の友達との関わりを見守ったり一緒に楽しんでいきたいと思えます。